

117年12月議決
118/1/29 抄録

安全・耐震強度問題と

市長の退職金問題

あびこ無所属クラブ 海津 新菜 議員

質問 市民会館も市役所も十年前に既に耐震強度がないため危険だと指摘され、耐震強度に問題があるとの報告を受け、市長は十年前から知っている。私が三月の予算委員会で、今後両施設の対策をするための委員会設置を訴えたが、その後も委員会が開催されなかったのは驚いている。市長は一年前の議会で、市民会館の廃止の考えがあることを述べているが、代替施設が借りられるまでの間をどうするの。対策委員会の進捗状況は。

総務部長 八月と十一月に市民会館施設検討委員会を開催し、利用状況および耐震診断の結果、施設を閉鎖する場

対応したいと考えている。成入式は会場だけのことでなく、安全も含めすべての最終的な責任は市長が持つことは当然と思っている。

質問 市長が一期四年ごとの退職金を受け取ることは、ほとんどの市民は知らない。民間ではリストラなどで苦勞し、退職金は一度しか支払われない。そういう点からも市長自ら見直しをしようか。

市長 市が加入する千葉県総合事務組合で既に首長の退職金の見直しをしたが、市長の報酬を見直せば退職金の見直しにはね返ってくるから、状況を見ながら、市長の報酬の見直しを引き続き進めていきたい。任期ごとか、まとめてかは直接額に連動しないが、当然、常に適切なものに見直していかなければと思っており、今後いろいろな

角度から検討していきたい。

質問 昭和六十二年に東我孫子駅で小学生の踏切死亡事故があり、その後、一万一千人を超える署名が集められ、市に対して駅の安全性を求める陳情が出されている。鉄柵が幾重にも設けられ、横断通り抜け禁止の札が立てられているだけの対応になっている。住宅都市を指す福嶋市政において、東我孫子駅の改札口と踏切の安全対策をどう考えているの。

環境生活部長 東我孫子駅の事故防止策については、自転車が行き止まりにならないよう防柵の強化を含めて、安全策をJR東日本に要望していく。

質問 ごみ焼却炉は老朽化し、二十三年度に耐用年数に達する。建て替えには県交付金、起債、一般財源を見込み、総額七十八億円を想定してい

東我孫子駅西側踏切



るようだが、十七年三月末の基金残高は約五億円である。建設等検討委員会を立ち上げるとの答弁もあったが、ごみ焼却炉の建設に向けての検討に、市民はどのようなかわりを持って参画するのか。

市長 計画づくりは、市民を委員とする調査会で議論し、その内容は広く市民に公開する。パブリックコメントも徹底してやっていきたい。